

## 令和元年度 第3回 教授総会議事概要

[令和元年6月19日(水)]

○ 所長から、次の新任教員について紹介があった。

・令和元年6月1日付け

### 【昇任】

芳村 圭 人間・社会系部門 教授

○ 前回議事概要(案)が承認された。

## I 報告事項

### 1. 寄附金受理報告

配付資料に基づき、整理番号S01-23~45の計23件について、常務委員会の審議の結果、受理された旨報告があった。

### 2. 受託研究受理報告

配付資料に基づき、受託番号J01-2, M01-5, G24-80(減額), G26-47(増額), G27-20(減額), G28-3(増額)(期間延長), G28-29(増額)(期間延長), G28-52(増額)(期間延長), G29-11(増額)(期間延長), G29-12(増額)(期間延長), G29-13(増額)(期間延長), G30-8(減額)(期間延長), G30-14(増額)(期間延長), G30-26(減額), G30-67(増額)(期間延長), G30-74(増額), G01-4, G01-7, G01-10~11, G01-14~15, G01-23~27の計27件について、常務委員会の審議の結果、受理された旨報告があった。

### 3. 民間等共同研究受理報告

配付資料に基づき、受付番号K26-61(増額)(期間延長), K29-22(増額)(期間延長), K30-35(増額)(期間延長), K30-66(増額)(期間延長), K01-11, K01-22, K01-29~30, K01-34~38, K01-40~41, K01-43~49, K01-52, K01-54~57, ZK01-4, ZK01-7, ZK01-10, ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構分K01-39, K01-42の計32件について、常務委員会の審議の結果、受理された旨報告があった。

### 4. 人事報告

(1) 物質・環境系部門(化学システム工学分野)の講師(または准教授), 機械・生体系部門(感染症制御学分野)の特任教授, 社会課題解決のためのブレインモルフィックAI社会連携研究部門(ブレインモルフィック数理モデリング分野)の特任准教授, 物質・環境系部門(超分子材料デザイン分野)の准教授, 高次協調モデリング客員部門(高压結晶成長工学分野)の客員教授に係る人事について、人事が進行している旨報告があった。

### 5. 平成30年度各種委員会報告

#### (1) 広報室

佐藤広報室長から、配付資料に基づき、平成30年度の活動状況等について報告があった。

#### (2) 情報委員会

井上情報委員長から、配付資料に基づき、平成30年度の活動状況等について報告があった。

(3) ユーティリティー委員会

井上ユーティリティー委員長から、配付資料に基づき、平成30年度の活動状況等について報告があった。

6. インクルーシブ工学連携研究機構の設置について

インクルーシブ工学連携研究機構の設置について報告があった。

7. 「科学自然都市協創連合～宇宙開発発祥の地から繋ぐコンソーシアム～」設立に関する協定書、規約について

「科学自然都市協創連合～宇宙開発発祥の地から繋ぐコンソーシアム～」設立に関する協定書、規約について報告があった。

## II 審議事項

1. 寄附金の受け入れについて

配付資料に基づき、500万円を超える寄附金（整理番号S01-28, S01-33）の受け入れについて説明があり、審議の結果、了承された。

## III 内外情勢報告

1. 研究科長・学部長・研究所長合同会議（5/28, 6/4）

研究科長・学部長・研究所長合同会議について、報告があった。

2. 教育研究評議会（6/18）

教育研究評議会について、報告があった。

## IV その他

1. 夏季の省エネルギー方針について

大岡キャンパス・施設部会長から、配付資料に基づき、令和元年度夏季の生産技術研究所の省エネルギー方針について説明があり、7月9日（火）に開催される説明会について案内があった。

2. 駒場リサーチキャンパス公開について

佐藤広報室長から、配付資料に基づき、5月30日（木）開催のインキュベーションミーティングの参加者及び5月31日（金）、6月1日（土）開催の駒場リサーチキャンパス公開来場者集計について、それぞれ合計63名、合計6,543名（前年度比117名減）であった旨報告があった。

3. 令和元年度における生産技術研究所の夏季一斉休業日について

岸所長から、令和元年度における生産技術研究所の夏季一斉休業日について、8月13日（火）及び8月14日（水）とする旨報告があった。

4. 生産研究70周年特別号について

岸所長から、生産研究70周年特別号の発行について説明があった。

以上